

第 55 回 茅野市・原村地域公共交通活性化協議会 議事録

[日時] 令和 8 年 1 月 13 日(火) 18:00～18:40

[場所] 市役所 8 階 大ホール

[議事]

1. 開会
2. 会長挨拶
3. 委員の交代について
4. 協議事項
 - (1) 諏訪市 チョイソコかりんちゃん停留所増設地について
 - (2) 地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について
 - (3) 令和 8 年度事業計画及び予算について
5. 報告
 - (1) 第 54 回茅野市・原村地域公共交通活性化協議会書面決議結果について
 - (2) 公共交利用者アンケート調査結果について
6. その他
7. 閉会

[出席者] 1. 委員 25 名、庁内委員・事務局 23 人、傍聴者 0 名、別紙のとおり

[1. 開会]

【事務局】

[2. あいさつ]

【会長】

大変お忙しいところ、また寒い中、お集まりいただきましてありがとうございます。

今日は公共交通のご協議をいただくわけですが、この公共交通の課題というのは、ここ最近始まった話ではないというお話を冒頭にさせていただこうかなと思います。

本日、新しくお見えになる方々もいらっしゃいますので、私がちょっと今考えていることも少し交えてお話をさせていただきます。

公共交通の課題というのはご承知のとおり、もう 20 年以上前からずっと課題であり続けてきています。私がこの政治の世界に足を踏み入れたのが 23 年前でして、当時市議会議員だった時もこのバスの問題、公共交通の問題というのはありました。その頃は東大でオンデマンドバスの実証実験をしており、視察に行ったりもしていました。

その後、県議の方に行かせていただいた当時、大手のバス会社の経営がかなり厳しいという状況の中で、補助金を何とか作ってもらえないかという話を受け、県にバス会社の社長さんみんなで要望に行ったという状況もございました。

そうした時期を経て、今、自治体はその補助金を出すという仕組み自体は普通なことになっていますが、それでもなかなか大変だというような状況が今なお続いています。こうしたことを考えると、やはり時代的な背景というのが非常に大きくて、人口減少の波というものが、こうした公共交通を維持するということにも大きく関わっているのだという風に思っています。

これはつまり、人がある程度いた時代に仕組みとして整っていたものを、同じようにこれからも続けても、もうこれは厳しいぞということの表れであるという風に思っていて、既存システムから新しい仕組みへ変えていかなければいけない、そんな時期に来ているという風に思っています。

私ども茅野市は、従来は「ビーナちゃんバス」というバスが走っていました。もちろんご利用いただいている方々もいたのですけれども、「空気を運んでいる」と揶揄されるような状況もありました。

ですがそこにも補助金をしっかりと入れていた訳です。それならばもっと皆さまにご利用いただける形はないかということで、現在の「のらざあ」や通勤・通学バスになっています。

これは当時、ある高校の生徒さんに「どうしてバスに乗らないの？」と聞いたら、「市長さん、電車の時間に合っていないバスにどうして乗れるの」と言われたんですね。つまりビーナちゃんバスは、お年寄りが病院に行ったり、お買い物に行ったりすることをメインに考えていたので、子供たちのことはあまり頭の中になかったのだなということにその時気づかされました。ですので、現在は通学・通勤バスを市内に6路線走らせて、そして昼間、お年寄りの方は「のらざあ」で病院や買い物に行ってもらおうという仕組みができないだろうかという形で今始めております。

おかげさまで、交通事業者さんや市民の皆様方のご理解、ご協力もあり、少しずつではありますが、その新しい形ができつつあります。まだまだ不足をしている部分がたくさんありますので、いろんな要望をいただいていますけれども、そうしたものを1つ1つ解決しながら、新しい仕組みをここに作る皆さまと作っていければという思いでこの協議会をやっています。

このことは公共交通だけでなく、人が減っていく時代では、いわゆるインフラ、道路、橋梁、上下水道、公共施設、こうしたものの維持も今までと同じやり方では難しくなっています。

このやり方をこれまでと同じようにやろうと頑張るほど、どんどん難しくなっていく、ジリ貧になっていくというのは明確になっています。ですので、この場合はみんなで新しい仕組みを作っていく場所にしていきたいという風に思っています。

公共交通にだけ言いますと、今全国から茅野市に視察が来ています。茅野市が挑戦をしているということはかなり先を行っているということなのだなと思っています。既存のシステムをちょっといじったぐらいで「やっていますよ」というところは、実はたくさんあります。茅野市は従来のやり方を全くゼロベースから見直しをしていますので、色々問題もありますが、やはり新しいことへの挑戦をしなければこれから先の時代はなかなか難しいし、公共交通というものがしっかりしているかで、その自治体の差が出てくる時代がすぐそこまでやってきているのだなという風に思っています。

ぜひ忌憚のない意見を出していただき、積極的にご意見をいただけますようお願いを申し上げます。

[3. 委員の交代について]

【事務局】

この会議の公開についてお諮りさせていただければと思います。

この会議は、これまで公開とし、ホームページで公開する場合は委員の皆様の氏名を省略する形で行ってきています。本日の会議につきましてもそのようにしてよろしいかお諮りいたします。

ご意見のある方がいらっしゃれば挙手いただければと思います。

ご意見無いようですので、会議は公開、ホームページで公開する際は氏名を省略という形で進めさせていただきます。

[4. 案件]

(1) 諏訪市 チョイソコりんちゃん停留所増設地について

—— 資料1 説明 ——

【諏訪市】

【会長】

ただいま説明いたしました内容についてご質問等がございましたらお願いいたします。

【委員】

意見というよりもお願いになります。今の住民は市町村を跨いで広域的に活動しています。上諏訪駅や諏訪赤十字病院へ行くのに、私の親戚あたりもほとんど茅野駅を利用しています。

今回の提案は大賛成ですが、住民にとって必要な地域交通とは何か、もう少し広域的に検討してもらえればありがたいと思います。

【諏訪市】

今回、本宮を訪れるお客様が前宮まで行くのに長時間歩いているため、そこに移動手段を作りたいということで計画したのが前宮前までの路線です。今後またそのような意見が出てきました際には、茅野市さんも含め協議させていただける機会もあろうかと思っています。

【委員】

県でも、自家用車に頼ることのできない高齢者や高校生、観光客を対象に、最低限必要な移動の確保を掲げています。必要であれば部会の中で具体的な見直しについても議論していきたいと思っています。

【会長】

その他ご意見無いようですので、ただいまご説明させていただきました案件につきまして、ご承認いただける方は挙手をもって承認をお願いいたします。

〔挙手〕

ありがとうございます。それでは全会一致で可決、承認されました。

(2) 地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について

—— 資料 2-1、2-2 説明 —— 【事務局】

【会長】

ただいま説明いたしました内容についてご質問等がございましたらお願いいたします。

ご意見無いようですので、ただいまご説明させていただきました案件につきまして、ご承認いただける方は挙手をもって承認をお願いいたします。

〔挙手〕

ありがとうございます。それでは全会一致で可決、承認されました。

(3) 令和8年度事業計画及び予算について

—— 資料 3-1、3-2 説明 —— 【事務局】

【会長】

ただいま説明いたしました内容についてご質問等がございましたらお願いいたします。

ご意見無いようですので、ただいまご説明させていただきました案件につきまして、ご承認いただける方は挙手をもって承認をお願いいたします。

〔挙手〕

ありがとうございます。それでは全会一致で可決、承認されました。

[5. 報告]

(1) 第 54 回茅野市・原村地域公共交通活性化協議会書面決議結果について

—— 説明 ——

【事務局】

【会長】

ご質問、ご意見ありましたらお願いをいたします。

(2) 公共交利用者アンケート調査結果について

—— 資料 4 説明 ——

【事務局】

公共交利用者アンケート調査結果についての報告は以上となります。

ご質問、ご意見ありましたらお願いをいたします。

ないようでありますので、慎重審議に感謝申し上げ、協議・報告事項を終了とさせていただきます。

[6. その他]

[7. 閉会]

【副会長】

本日はありがとうございました。

公共交通の基本は移動手段の確保ですが、利便性を高めるには地域間の連携が重要です。

観光分野の連携が住民の日常の移動手段としても活用され、地域全体の利便性向上につながります。広域的な視点で交通体系を考えていくことが必要であり、今後も誰もが使いやすい公共交通の実現を目指してまいります。